

平成 26 年第 1 回防府市議会定例会会議録 （その 1）

○平成 26 年 2 月 26 日 （水曜日）

○議事日程

平成 26 年 2 月 26 日 （水曜日） 午前 10 時 開会

- 1 開 会
 - 2 会期の決定
 - 3 議席の変更
 - 4 会議録署名議員の指名
 - 5 市長行政報告
 - 6 総合交通体系調査特別委員会の中間報告
 - 7 承認第 1 号 専決処分の承認を求めることについて
 - 8 報告第 1 号 契約の報告について
 - 9 報告第 2 号 契約の報告について
 - 10 議案第 1 号 工事請負契約の締結について
 - 11 議案第 2 号 工事請負契約の締結について
 - 12 議案第 3 号 山口県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合の規約の変更について
 - 13 議案第 4 号 職員の給与に関する条例中改正について
 - 14 議案第 5 号 平成 25 年度防府市一般会計補正予算（第 11 号）
 - 15 議案第 6 号 平成 25 年度防府市競輪事業特別会計補正予算（第 3 号）
議案第 7 号 平成 25 年度防府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）
議案第 8 号 平成 25 年度防府市索道事業特別会計補正予算（第 2 号）
議案第 9 号 平成 25 年度防府市青果市場事業特別会計補正予算（第 2 号）
議案第 10 号 平成 25 年度防府市介護保険事業特別会計補正予算（第 3 号）
議案第 11 号 平成 25 年度防府市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 3 号）
 - 16 議案第 12 号 平成 25 年度防府市水道事業会計補正予算（第 2 号）
議案第 13 号 平成 25 年度防府市工業用水道事業会計補正予算（第 1 号）
議案第 14 号 平成 25 年度防府市公共下水道事業会計補正予算（第 2 号）
-

○本日の会議に付した事件

目次に記載したとおり

○出席議員（24名）

1 番	久 保 潤 爾 君	2 番	橋 本 龍太郎 君
3 番	木 村 一 彦 君	4 番	清 水 浩 司 君
5 番	藤 村 こずえ 君	7 番	平 田 豊 民 君
8 番	田 中 敏 靖 君	9 番	中 林 堅 造 君
10 番	三 原 昭 治 君	11 番	山 田 耕 治 君
12 番	重 川 恭 年 君	13 番	高 砂 朋 子 君
14 番	山 本 久 江 君	15 番	安 村 政 治 君
16 番	吉 村 弘 之 君	17 番	上 田 和 夫 君
18 番	松 村 学 君	19 番	田 中 健 次 君
20 番	山 下 和 明 君	21 番	山 根 祐 二 君
22 番	安 藤 二 郎 君	23 番	河 杉 憲 二 君
24 番	今 津 誠 一 君	25 番	行 重 延 昭 君

○欠席議員（1名）

6 番 和 田 敏 明 君

○説明のため出席した者

市 長	松 浦 正 人 君	副 市 長	中 村 隆 君
教 育 長	杉 山 一 茂 君	代 表 監 査 委 員	中 村 恭 亮 君
上下水道事業管理者	浅 田 道 生 君	総 務 部 長	吉 川 祐 司 君
総 務 課 長	林 慎 一 君	財 務 部 長	持 溝 秀 昭 君
生 活 環 境 部 長	福 谷 眞 人 君	健 康 福 祉 部 長	清 水 敏 男 君
産 業 振 興 部 長	山 本 一 之 君	土 木 都 市 建 設 部 長	金 子 俊 文 君
入 札 検 査 室 長	福 田 一 夫 君	会 計 管 理 者	木 村 雅 幸 君
教 育 部 長	原 田 知 昭 君	農 業 委 員 会 事 務 局 長	堀 浩 二 君
選挙管理委員会事務局長	福 田 直 之 君	監 査 委 員 会 事 務 局 長	藤 本 豊 君
消 防 長	牛 丸 正 美 君	上 下 水 道 局 次 長	大 田 隆 康 君

○事務局職員出席者

午前 10 時 開 会

○議長（行重 延昭君） ただいまから平成 26 年第 1 回防府市議会定例会を開催いたします。

定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

欠席の届け出のありました議員は和田議員であります。

会期の決定

○議長（行重 延昭君） 会期についてお諮りいたします。

今期定例会の会期は、本日から 3 月 26 日までの 29 日間としたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 御異議ないものと認めます。よって、今期定例会の会期は、本日から 3 月 26 日までの 29 日間と決定をいたしました。

議事日程につきましては、お手元に配付しております日程に基づいて進行したいと思いますので、よろしく御協力のほどお願い申し上げます。

議席の変更

○議長（行重 延昭君） 議席の変更についてを議題といたします。

議席の変更を議会運営員会において御相談申し上げ、決定を見ましたので、議席順に氏名を御報告申し上げます。局長より御報告をいたさせます。

○議会事務局長（中村 郁夫君） それでは御報告申し上げます。敬称は省略させていただきます。

1 番	久 保 議 員	2 番	橋 本 議 員
3 番	木 村 議 員	4 番	清 水 議 員
5 番	藤 村 議 員	6 番	和 田 議 員
7 番	平 田 議 員	8 番	田中敏靖議 員
9 番	中 林 議 員	10 番	三 原 議 員
11 番	山 田 議 員	12 番	重 川 議 員
13 番	高 砂 議 員	14 番	山 本 議 員
15 番	安 村 議 員	16 番	吉 村 議 員

17番	上田議員	18番	松村議員
19番	田中健次議員	20番	山下議員
21番	山根議員	22番	安藤議員
23番	河杉議員	24番	今津議員
25番	行重議長		

以上でございます。

○議長（行重 延昭君） ただいま報告しましたとおり、議席を変更することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 御異議ないものと認めます。よってただいま報告をしまして、おり議席を変更することに決しました。

それでは恐れ入りますが、ただいま決定しました議席にそれぞれ御着席いただきますようお願いいたします。

暫時休憩いたします。

午前10時 3分 休憩

午前10時 4分 開議

○議長（行重 延昭君） 休憩を閉じて会議を再開いたします。

会議録署名議員の指名

○議長（行重 延昭君） 本日の会議録署名議員を御指名申し上げます。

23番、河杉議員、24番、今津議員、御両名をお願いを申し上げます。

市長行政報告

○議長（行重 延昭君） これより市長の行政報告を受けます。市長。

〔市長 松浦 正人君 登壇〕

○市長（松浦 正人君） 差押処分無効確認等請求事件の判決の確定について御報告を申し上げます。

本件は、平成24年7月12日に本市を被告として提訴された、「差押処分が無効であることの確認」を求める行政訴訟でございますが、第一審の山口地方裁判所におきましては、「差押処分が無効であることの確認を求める訴えを却下する。」という内容の判決が、第二審の広島高等裁判所におきましては、「本件控訴を棄却する。」という内容の判決が

下されております。

原告はこの判決を不服として、平成２５年７月１７日に最高裁判所に対し、「上告状兼上告受理申立書」を提出しましたが、最高裁判所の審査の結果、平成２６年１月１６日付で「本件上告を棄却する。」及び「本件を上告審として受理しない。」との決定調書が送達されたところでございます。

これによりまして、本訴訟は終了し、本市の勝訴判決が確定いたしました。

以上、御報告申し上げます。

○議長（行重 延昭君） ただいまの行政報告に対する質疑につきましては、一般質問に含めてお願いしたいと思います。

したがいまして、この質問の要旨は、本日の午後５時までに御提出いただきますようお願い申し上げます。

総合交通体系調査特別委員会の中間報告

○議長（行重 延昭君） この際、総合交通体系調査特別委員会より審査の過程において中間報告したい旨の報告がありましたので、これを許します。山田委員長。

〔総合交通体系調査特別委員長 山田 耕治君 登壇〕

○１１番（山田 耕治君） おはようございます。去る、１月２４日に総合交通体系調査特別委員会を開催しましたので、その概要について御報告申し上げます。

今回は、新たな交通サービスの導入及び「第二次防府市生活交通活性化計画（案）」について、執行部から説明を受け、質疑等を行いました。

まず、新たな交通サービスの導入については、執行部から「昨年の９月から小野、大道、富海の一部地域に出向き、新たな交通サービスの導入について、地域の方々と協議をすることとしておりましたが、新年度から実施する予定の高齢者外出支援事業との調整があり、地域の方々との協議が遅れております。今後、早急に日程を調整し、協議してまいります」との説明がございました。

執行部の説明に対する主な質疑等を申し上げますと、「高齢者外出支援事業と新たな交通サービスのそれぞれの開始時期はいつになるのか」との質疑に対して、「高齢者外出支援事業につきましては、７月ごろになろうかと思います。新たな交通サービスについては、これからそれぞれの地域に出向き、さまざまな導入手法を説明し、協議の上、その地域に合った手法を決めてまいります。選択した手法によって準備期間が異なりますので、具体的な開始時期については、申し上げることができません」との答弁がございました。

これに対して、「さまざまな手法を説明しても、地域の方々はどの手法を選択すべきか

判断しづらいと思う。市が主体となって、その地域に合った手法を決めるべきである。そうでないと開始時期がさらに遅れてしまう」との意見がございました。

次に、「第二次防府市生活交通活性化計画（案）」については、執行部から今年度で終了する現行の計画の検証、来年度から平成32年度までの5カ年の次期計画（案）及び防府市生活交通活性化推進協議会委員からの同（案）に関する意見の概要説明がございました。

執行部の説明に対する主な質疑等を申し上げますと、「市はバス事業者に補助金を支出しているが、これまで、バス事業者と経営について協議を行ってきたのか」との質疑に対して、「バス事業者には、防府市生活交通活性化推進協議会の委員になっていただいております。

協議会の中で、バス事業者の経営については協議をしております。また、市は路線バスの利用者を増やすためのイベントなどを行っていますが、そこでもバス事業者とは個別に協議をしているところです」との答弁がございました。

これに対して、「現在のバス運行方法は住民のニーズに合っていない。バス事業者は新たな交通サービスを展開し、経営効率を上げていくべきである。市はそれに協力し、補助金を交付すべきである」との意見がございました。

また、「次期計画（案）は、生活交通全般の活性化計画であり、路線バスの利用促進についてだけではなく、JRや野島航路の利用促進についても記述していただきたい」との要望もございました。

以上が1月24日に開催しました総合交通体系調査特別委員会の概要でございます。

以上をもちまして、総合交通体系調査特別委員会の中間報告とさせていただきます。

○議長（行重 延昭君） ただいまの特別委員会の中間報告に対し、質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 以上で総合交通体系調査特別委員会の中間報告を終わります。

承認第1号専決処分の承認を求めることについて

○議長（行重 延昭君） 承認第1号を議題といたします。理事者の補足説明を求めます。市長。

〔市長 松浦 正人君 登壇〕

○市長（松浦 正人君） 承認第1号専決処分の承認を求めることについて御説明申し上げます。

本案は山口県知事選挙が平成26年2月23日に執行されることに伴い、平成25年度

の一般会計予算を補正する必要が生じましたが、市議会にお諮りする時間的余裕がございませんでしたので、専決により措置したものをこのたび御承認いただくものでございます。

補正の内容につきましては、歳出では選挙の執行に要する報酬等の経費を計上し、歳入では、これと同額を県支出金及び諸収入に計上したものでございます。

よろしくお願い申し上げます。

○議長（行重 延昭君） 本件に対する質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 質疑を終結してお諮りいたします。本件については、委員会付託を省略したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 御異議ないものと認めます。よって討論を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 討論を終結してお諮りいたします。本件についてはこれを承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 御異議ないものと認めます。よって承認第1号については、これを承認することに決しました。

報告第1号契約の報告について

○議長（行重 延昭君） 報告第1号を議題といたします。理事者の補足説明を求めます。市長。

〔市長 松浦 正人君 登壇〕

○市長（松浦 正人君） 報告第1号契約の報告について御説明申し上げます。

本案は、議決事件に該当しない契約及び財産の処分についての報告に関する条例第3条第1項の規定により、防府市雨水排水設備維持管理業務委託契約につきまして、御報告申し上げます。

報告いたします契約は、お手元にお示しいたしておりますとおり、入札により落札者と決定いたしました事業者と締結したものでございます。

これをもちまして報告にかえさせていただきます。

○議長（行重 延昭君） 本件に対する質疑を求めます。3番、木村議員。

○3番（木村 一彦君） この相手方の、ウォーターエージェンシーという会社は、どんな会社かということをお尋ねしたいのですが、特に本社がどこにあって、全国的にどうい

う範囲で仕事をしているのか。それから、県内、市内の実績はどうか、その辺についてちょっと御説明願いたいと思います。

○議長（行重 延昭君） 土木都市建設部長。

○土木都市建設部長（金子 俊文君） 土木都市建設部でございます。報告案件、実は2件ございまして、私のほうが今、御提案をさせていただきました報告案件、防府市雨水排水設備維持管理業務委託でございますが、実は、防府浄化センター及びということで、一括の契約をした上で、それぞれ契約を分離しておるところでございます、できれば上下水道局のほうに御説明をお願いしたいと思います。

○議長（行重 延昭君） 上下水道局次長。

○上下水道局次長（大田 隆康君） お答えいたします。ウォーターエージェンシー、これは、従来、日本ヘルス工業と申しておりました。日本ヘルス工業でございます。これが会社名が変わりまして、株式会社ウォーターエージェンシーということになっております。

本社は、東京都新宿区でございます。山口営業所は防府市の寿町でございます。県内の実績は防府だけでございます。あと、やっておりますのが、今、浄化センターの管理、それからポンプ場の管理、そういうふうなものをやっておられます。

以上でございます。

○議長（行重 延昭君） ほかにありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 以上で報告第1号を終わります。

報告第2号契約の報告について

○議長（行重 延昭君） 報告第2号を議題といたします。理事者の補足説明を求めます。上下水道事業管理者。

〔上下水道事業管理者 浅田 道生君 登壇〕

○上下水道事業管理者（浅田 道生君） 報告第2号契約の報告について御説明申し上げます。

本案は議決事件に該当しない契約及び財産の処分についての報告に関する条例第3条第1項の規定により、夜間・休日における防府市水道施設運転管理等業務委託契約並びに、防府浄化センター及び防府市雨水排水設備維持管理業務委託契約につきまして、御報告申し上げます。

報告いたします契約は、お手元にお示しをいたしておりますとおり、入札により落札者と決定をいたしました事業者と締結したものでございます。

これを持ちまして、報告にかえさせていただきます。よろしくお願いをいたします。

○議長（行重 延昭君） 本件に対する質疑を求めます。１９番、田中健次議員。

○１９番（田中 健次君） まず、１つ目の夜間・休日における防府水道施設運転管理等委託契約ですけれども、これまではヴェオリアという会社が業務委託をしておりました。途中で一度、契約期間が切れて今２期目といたしますか、その契約が終わって今度３期目が、この新しいフジ地中情報株式会社ということになるわけでありましたが、一番最初の１期目のときには、４月から委託契約するに当たって、３カ月間、研修のような形でその委託業者の方がつかれるような形があったと思います。

今回、同じ業者であれば、そういったものは必要ないのかもしれませんが、業者が変わるということになると、それがスムーズにいくのかどうか、作業員の方が変わることが可能性としてあるわけですね。場合によれば、前の社員の方を引き継ぐということがあり得るのかもしれませんが、その辺について、どういうふうに考えられておるのか、その辺の契約上の担保といたしますか、そういうものはどういうふうになっているのか、その辺についてお答え願いたいと思います。

○議長（行重 延昭君） 上下水道事業管理者。

○上下水道事業管理者（浅田 道生君） お答えいたします。今の御意見のとおり、今回からフジ地中情報株式会社ということに契約はなりました。いわゆる冒頭申されました引き継ぎにつきましては、業者の責任において引き継ぐということとなっておりますので、当然、業者同士で引き継がれるというふうに考えております。

また、業者が変わったことによって、スムーズにということですが、フジ地中情報株式会社につきましては、２５年度から検針業務を受注されておりますので、防府の業務に関してはある程度、把握もされているということの中で、その辺はスムーズにいくのではないかとこのように考えております。御理解いただきますように。

○議長（行重 延昭君） １９番、田中健次議員。

○１９番（田中 健次君） そういうふうに業者間で引き継ぎはされるということは、契約上あるわけですが、一番最初、市が直営でやっていたものを、民間の業者に引き継ぐときには３カ月間、研修のような形でありました。そういうことがありますので、申し上げたわけです。

ただ、冒頭申し上げませんでしたでしたが、フジ地中情報株式会社は、聞くとところによると、ヴェオリアの資本下にある会社であるということでもありますので、言ってみれば同じ資本関係ということであれば、その辺は多少スムーズにいくだろうというふうに思います。

それと、確認のためにお聞きしますが、この夜間・休日における防府市水道施設運転管

理等業務委託については、これ、何者の入札によるものか、ちょっとこの点だけ、確認でお答え願いたいと思います。

○議長（行重 延昭君） 上下水道局次長。

○上下水道局次長（大田 隆康君） お答えいたします。2者でございます。

○議長（行重 延昭君） 19番、田中健次議員。

○19番（田中 健次君） 2者ということになると、当然、今までのヴェオリアとフジ地中という形で、同じ資本系列のところで、親会社と子会社でということになるわけでしょうか。

○議長（行重 延昭君） 上下水道局次長。

○上下水道局次長（大田 隆康君） お答えいたします。このたび参加いたしましたのは、フジ地中と藤井総業という会社でございまして、ヴェオリアは参加しておりません。

以上でございます。

○議長（行重 延昭君） ほかにありますか。3番、木村議員。

○3番（木村 一彦君） 関連ですけど、フジ地中とヴェオリア・ウォーター・ジャパンの関係ですけど、フジ地中の持ち株のどのぐらいをヴェオリアが出しているのか、それから従業員さんはヴェオリアさんと共通の従業員さんなのかどうか、その辺をちょっと教えてください。

○議長（行重 延昭君） 上下水道局次長。

○上下水道局次長（大田 隆康君） 申しわけございませんが、持ち株はちょっと今情報を持ち合わせておりません。従業員についても、それぞれの所属の会社の従業員だと承知しております。

○議長（行重 延昭君） 3番、木村議員。

○3番（木村 一彦君） ちょっと、ヴェオリアの支配力というか、それがどのぐらいなのかというのを、ちょっと知りたかったんですが、100%子会社ではないんですよね、それが1つ。それから、従業員はだから全然、別個の従業員さんですか、両方に重なって仕事している人はいないのですか、その2点お願いします。

○議長（行重 延昭君） 上下水道事業管理者。

○上下水道事業管理者（浅田 道生君） お答えをいたします。基本的には、別会社でございますから、従業員が兼ねるということはないというふうに思っております。先ほど申しましたように、フジ地中さんにおかれては、今現在も、先ほど言いました業務、それから、いわゆる漏水調査といった業務も受注をしていらっしゃいますので、その辺は、業務については、何ら問題ないというふうに考えておりますし、いわゆるヴェオリア・ウォー

ター・ジャパンとの関係でございますが、いわゆる独立した企業さんでございますので、その辺はちゃんと区分わけがされているというふうに考えております。

以上です。

○議長（行重 延昭君） ありませんね。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 以上で報告第2号を終わります。

議案第1号工事請負契約の締結について

○議長（行重 延昭君） 議案第1号を議題といたします。理事者の補足説明を求めます。市長。

〔市長 松浦 正人君 登壇〕

○市長（松浦 正人君） 議案第1号工事請負契約の締結について御説明申し上げます。

本案は、当初予算及び9月補正予算で御承認をいただき、平成25年度、26年度の継続事業として施行いたします、防府市立右田小学校校舎改築（建築主体）工事の請負契約の締結についてお諮りするものでございます。

工事の内容でございますが、防府市立学校施設耐震化推進計画に基づき、文部科学省の補助事業により増改築し、学校環境の整備を図ろうとするものでございます。お手元の参考資料にお示ししておりますとおり、制限付き一般競争入札の公募により、参加のありました山陽建設工業株式会社・澤田建設株式会社・藤本工業株式会社共同企業体ほか一共同企業体により、入札を行いました結果、山陽建設工業株式会社・澤田建設株式会社・藤本工業株式会社共同企業体が落札いたしましたので、これと契約を締結しようとするものでございます。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（行重 延昭君） 本案に対する質疑を求めます。3番、木村議員。

○3番（木村 一彦君） これは市内の3社の共同企業体になっております。共同企業体ジョイントベンチャーでやってくれというふうに市の側から意向が、されたのか、それとも業者の方が1社では難しいからということで3社ジョイントベンチャーで入札に応じられたのか、そのことが1つと。

それから、3社のジョイントベンチャーの俗に言う頭ですね、中心になる企業はどこなのか、それを教えてください。

○議長（行重 延昭君） 入札検査室長。

○入札検査室長（福田 一夫君） お答えいたします。まず1点目ですけれども、業者の

ほうからそういった要望があったかという御質問でございますが、これはございません。
規模的なもの、金額的なものからしてですね。それと本市の建設工事共同企業体取扱要綱、
これによりますと、設計金額で建築工事においては7億円以上については、構成員の数は
3社と決まっておりますので、これで執行いたしております。

それと、もう1点は、これの代表者でございますが、代表者は山陽建設工業株式会社で
ございます。

以上です。

○議長（行重 延昭君） ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 質疑を終結してお諮りいたします。

本案については、委員会付託を省略したいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 御異議ないものと認めます。よって、討論を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 討論を終結して、お諮りいたします。

本案については、これを可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 御異議ないものと認めます。よって、議案第1号については、
原案のとおり可決されました。

議案第2号工事請負契約の締結について

○議長（行重 延昭君） 議案第2号を議題といたします。理事者の補足説明を求めます。
市長。

〔市長 松浦 正人君 登壇〕

○市長（松浦 正人君） 議案第2号工事請負契約の締結について御説明申し上げます。

本案は、当初予算及び9月補正予算で御承認をいただき、平成25年度、26年度の継続事業として施工いたします防府市立桑山中学校校舎改築（建築主体）1期工事の請負契約の締結について、お諮りするものでございます。

工事の内容でございますが、防府市立学校施設耐震化推進計画に基づき、文部科学省の補助事業により改築するとともに、防衛省の補助を受けて騒音防止の措置を講じ、学校環境の整備を図ろうとするものでございます。

お手元の参考資料にお示しいたしておりますとおり、制限付き一般競争入札の公募によ

り参加のありました、成長建設株式会社ほか３者により入札を行いました結果、成長建設株式会社が落札いたしましたので、これと契約を締結しようとするものでございます。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（行重 延昭君） 本案に対する質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 質疑を終結して、お諮りいたします。

本案については、委員会付託を省略したいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 御異議ないものと認めます。よって、討論を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 討論を終結してお諮りいたします。

本案については、これを可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 御異議ないものと認めます。よって、議案第２号については、原案のとおり可決されました。

議案第３号山口県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合の規約の変更について

○議長（行重 延昭君） 議案第３号を議題といたします。理事者の補足説明を求めます。市長。

〔市長 松浦 正人君 登壇〕

○市長（松浦 正人君） 議案第３号山口県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合の規約の変更について、御説明申し上げます。

本案は、周南地区食肉センター組合の解散により、平成２６年３月３１日限りで同組合を山口県市町総合事務組合から脱退させることに伴い、関係地方公共団体と協議して、山口県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数を減少し、及び同組合の規約を変更することについてお諮りするものでございます。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（行重 延昭君） 本案に対する質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 質疑を終結してお諮りいたします。

本案については、委員会付託を省略したいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 御異議ないものと認めます。よって、討論を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 討論を終結してお諮りいたします。

本案については、これを可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 御異議ないものと認めます。よって、議案第3号については、原案のとおり可決されました。

議案第4号職員の給与に関する条例中改正について

○議長（行重 延昭君） 議案第4号を議題といたします。理事者の補足説明を求めます。市長。

〔市長 松浦 正人君 登壇〕

○市長（松浦 正人君） 議案第4号職員の給与に関する条例中改正について御説明申し上げます。

本案は、臨時的・補助的業務に従事しております臨時職員及び一般職の非常勤職員の給与について、これまで条例中に規定がございましたので、このたび、県内の他の自治体と同様に条例に規定しようとするものでございます。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（行重 延昭君） 本案に対する質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 質疑を終結してお諮りいたします。

本案については、委員会付託を省略したいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 御異議ないものと認めます。よって、討論を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 討論を終結してお諮りいたします。

本案については、これを可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 御異議ないものと認めます。よって、議案第4号については、原案のとおり可決されました。

議案第 5 号平成 2 5 年防府市一般会計補正予算（第 1 1 号）

○議長（行重 延昭君） 議案第 5 号を議題といたします。理事者の補足説明を求めます。副市長。

〔副市長 中村 隆君 登壇〕

○副市長（中村 隆君） 議案第 5 号平成 2 5 年度防府市一般会計補正予算第 1 1 号について、御説明を申し上げます。

まず、第 1 条におきまして、歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ 2 億 2, 1 2 7 万 9, 0 0 0 円を減額し、補正後の予算総額を 3 7 3 億 6, 8 4 9 万 6, 0 0 0 円といたしております。

なお、今回の補正につきましては、決算見込み及び国の経済対策に対応した補正が主なものでございます。

次に第 2 条の継続費の補正につきましては、6 ページの第 2 表にお示しいたしておりますように、都市計画道路方針策定事業及び市営住宅建替事業三田尻本町団地につきまして、総額及び年割額を変更いたすものでございます。

第 3 条の繰越明許費の補正につきましては、7 ページから 8 ページまでの第 3 表にお示しをいたしておりますように、コミュニティ放送設備整備補助事業ほか 2 9 件につきまして、翌年度へ予算を繰り越すものでございます。

第 4 条の債務負担行為の補正につきましては、9 ページの第 4 表にお示しいたしておりますように、議会インターネット中継業務委託ほか 1 2 件を追加いたすものでございます。

第 5 条の地方債の補正につきましては、1 0 ページの第 5 表にお示しいたしておりますように、上水道事業出資ほか 1 0 件に係る限度額を決算見込み及び国の経済対策等によりまして、変更いたすものでございます。

それでは、歳入歳出補正予算の内容につきまして、事項別明細書により御説明を申し上げます。

まず、歳出につきまして、その主なものを御説明申し上げます。

3 6 ページをお願いいたします。

3 6 ページ下段から 4 9 ページ上段までの 2 款総務費につきましては、そのほとんどが決算見込みによる補正でございますが、特に 3 6 ページ下段の 1 項総務管理費 1 目一般管理費の庁舎建設基金積立金につきましては、庁舎建設に係る将来負担の軽減を図るために、積立金の増額を計上いたしております。

次に、3 8 ページの 2 目人事管理費の職員給与費につきましては、定年前退職者に係る退職手当の増額を計上いたしております。

次に、７目財政調整基金費の財政調整基金積立金につきましては、市有地売払収入等の基金への積立金を計上いたしております。また、歳入におきましては、不動産売払収入の増額をあわせて計上いたしております。

次に、４８ページ下段から５５ページ中段までの３款民生費につきましても、そのほとんどが精算及び決算見込みに伴う補正でございますが、特に４８ページ下段の１項社会福祉費、４目高齢者福祉費の老人福祉施設整備補助事業につきましては、国の経済対策に対応いたしました老人福祉施設の防火施設整備に係る、地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を計上いたしております。

また、歳入におきましては、この経費に係る国庫補助金をあわせて計上いたしております。

次に、５０ページの５目障害者福祉費の障害者福祉関係業務につきましては、国の経済対策に対応いたしました電算システム改修に係る委託料を計上いたしております。

また、歳入におきましては、この経費に係る国庫補助金をあわせて計上いたしております。

次に、５４ページ下段から５９ページ上段までの、４款衛生費につきましても、そのほとんどが精算及び決算見込みに伴う補正でございますが、特に５６ページの１項保健衛生費７目老人保健対策費のがん検診事業につきましては、国の経済対策に対応いたしました女性特有のがんの検診を促進するための経費を計上いたしております。

また、歳入におきましては、この経費に係る県補助金をあわせて計上いたしております。

次に５８ページ中段から６５ページまでの５款労働費、６款農林水産業費、７款商工費につきましては事業費の確定や決算見込み等に伴う補正でございます。

次に、６６ページから７３ページ上段までの８款土木費につきましては、そのほとんどが事業費の確定及び決算見込みに伴う補正でございますが、特に、６６ページ上段の１項土木管理費２目交通安全対策費の道路施設安全点検事業につきましては、国の経済対策に対応いたしました道路施設の安全を点検するための調査委託料を計上いたしております。

また、歳入におきましては、この経費に係る国庫補助金をあわせて計上いたしております。

次に、７２ページ下段から７９ページの２段目までの１０款教育費につきましても、そのほとんどが事業費の確定及び決算見込みに伴う補正でございますが、特に７４ページの２段目の２項小学校費３目学校建設費の小学校施設耐震化事業及び７６ページ上段の３項中学校費３目学校建設費の中学校施設耐震化事業につきましては、それぞれ、国の経済対策に対応いたしました耐震補強に係る改良・改修工事費を計上をいたしております。

また、歳入におきましては、この経費に係る国庫補助金及び市債をあわせて計上いたしております。

次に、78ページの2段目の5項保健体育費4目体育施設費のプール建設事業につきましては、プールの開設に伴います備品の購入経費を計上いたしております。

次に、78ページ下段の14款予備費につきましては、今回の補正の収支をいたしまして、補正後の予備費を3億620万8,000円といたしております。

次に、歳入でございますが、歳出で御説明申し上げました以外の補正につきまして、その主なものを御説明申し上げます。

12ページをお願いいたします。

12ページから15ページの2段目までの1款市税につきましても、決算見込みに伴う補正でございますが、特に12ページ上段の1項市民税2目法人の現年課税分につきましては、企業業績の回復等によりまして、5億4,413万8,000円の増額を計上いたしております。

次に、同じページの3段目の2項固定資産税1目固定資産税の現年課税分につきましては、主に企業の設備投資の増に伴います償却資産についての固定資産税が増額となりましたことによりまして、1億6,165万3,000円の増額を計上いたしております。

最後に、28ページの4段目の19款繰入金の財政調整基金繰入金につきましては、補正の収支によりまして、繰入金の減額を計上いたしております。

以上、よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（行重 延昭君） 本案に対する質疑を求めます。19番、田中健次議員。

○19番（田中 健次君） 全般的なことになろうと思いますので、この場で質疑をするのがいいと思いますので、させていただきますが、今の形で財政調整基金が5億8,000万円繰入額を減らすと、約6億円繰入額を減らすという形のこと、それから、当初、予定になかった庁舎建設基金を約4億円弱、これを積み上げたということになりますと、4億円と5億8,000万円で、10億円までいきませんが、それに近い金額ほど財政的にゆとりができて、最終的に予備費として3億円というものがまだ確保できておるといふ形になると、かなり、今年度また、この上に若干、最終的に、不用額というものが積み上がっていくという形になると思いますので、そうしますと、かなり当初の予算の見込みからいくと、収入と支出の関係でいくとどうだろうかというふうに思うのですけれども、この時期でそうやって、10億円に近いお金がそういう形で、余るということではないのですけれども、余裕ができた、この辺について、どういうふうにお考えなのか、御回答、お願いしたいと思います。

○議長（行重 延昭君） 財務部長。

○財務部長（持溝 秀昭君） 今の田中議員の御質問にお答えいたしますが、まず財調で6億円の繰入を減す、それから庁舎へ4億円積むといことで、約10億円の余裕があるのではないかとございますが、今回の歳入の市税のところ、補正額がトータルで7億4,700万円余りの増収でございます。

それと、歳出のほうで一部で不用が出ておりますので、その差し引きでこういう結果になります。ただ、財調もまだ5億円は取り崩す、繰り入れる予定で、今この補正の段階では計算してあります。

ですから、全部を、全然繰り入れずに余裕があるということではございませんので、その点をお含みいただきまして、確かに今回、税が増収になったことで余裕的には、当初に比べれば余裕があるというふうな考えでおります。

以上でございます。

○議長（行重 延昭君） ほかにありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 質疑を終結してお諮りいたします。本案につきましては、なお審査の要があると認めますので、所属常任委員会に付託したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 御異議ないものと認めます。よって、議案第5号につきましては、予算委員会に付託と決しました。

議案第 6号平成25年度防府市競輪事業特別会計補正予算（第3号）

議案第 7号平成25年度防府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）

議案第 8号平成25年度防府市索道事業特別会計補正予算（第2号）

議案第 9号平成25年度防府市青果市場事業特別会計補正予算（第2号）

議案第10号平成25年度防府市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）

議案第11号平成25年度防府市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）

○議長（行重 延昭君） 議案第6号から第11号までの6議案を一括議題といたします。理事者の補足説明を求めます。副市長。

〔副市長 中村 隆君 登壇〕

○副市長（中村 隆君） 議案第6号から議案第11号までの6議案につきまして、一括して御説明を申し上げます。

まず、１ページの議案第６号平成２５年度防府市競輪事業特別会計補正予算（第３号）、次に、１９ページの議案第７号平成２５年度防府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第３号）——開いていただく必要ございません。６議案につきまして、全て同じことを最後に申し上げますので。それから４７ページの議案第８号平成２５年度防府市索道事業特別会計補正予算（第２号）、５３ページの議案第９号平成２５年度防府市青果市場事業特別会計補正予算（第２号）、５９ページの議案第１０号平成２５年度防府市介護保険事業特別会計補正予算（第３号）、８７ページの議案第１１号平成２５年度防府市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第３号）の計６会計につきましては、今回の補正はそのほとんどが、決算見込みに基づく補正を行い、その収支差を予備費や一般会計からの繰入金等で調整をいたしているものでございます。

それでは、今回の補正につきまして、その主なものを御説明をさせていただきます。

６ページをお願いいたします。

防府市競輪事業特別会計補正予算につきましては、２段目の車券発売金収入におきまして、Ｆ１競輪の売り上げが、当初の見込みを上回りましたことから、車券発売金収入の増額を計上いたしております。

また、歳出におきましては、車券発売金収入の増額に伴います払戻金の増額を計上いたしております。

次に８ページ上段の諸収入につきましては、新たにＪＫＡ交付金の還付金を計上いたすとともに、歳出におきましては、その全額を競輪場施設整備基金の積立金に計上いたしております。

次に、１６ページから１７ページの債務負担行為に関する調書につきましては、宿泊業務委託ほか２件を追加いたすものでございます。

次に、６８ページをお願いいたします。

防府市介護保険事業特別会計補正予算につきましては、上段の一般管理費におきまして、国の経済対策に対応いたしました電算システム改修に係る委託料を計上いたしております。

また、歳入におきましては、この経費に係る国庫補助金をあわせて計上いたしております。

最後に８４ページから８５ページの繰越明許費調書につきましては、介護保険システム改修事業について、繰越明許費を設定するものでございます。

以上、議案第６号から議案第１１号までの６議案につきまして、御説明を申し上げました。よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（行重 延昭君） ただいまの補足説明に対して、一括して質疑を求めます。

18番、松村議員。

○18番（松村 学君） 47ページでございますが、索道事業特別会計補正予算。このたびも300万円ほど、また最終的に繰入金という形で補填をしていくということでございます。

このたび、勉強会でも大平山の検証報告書というのが上がってきておりまして、いろいろちょっと見させていただいているのですが、一応、平成22年度から24年度までの乗客数と実際の運賃等の収入、こういったものが出ているのですが、それ以前の3カ年ぐらいはどうだったのかというのは、ちょっと知りたいんですが、その辺のところをちょっとお示ししていただきたいと思います。

○議長（行重 延昭君） 産業振興部長。

○産業振興部長（山本 一之君） 今、議員が言われました検証で22年から24年までの数値については、先日、御報告しましたけれども、それ以前については、ちょっと今、手元に資料がございませんので、数字等はちょっと御報告できません。

以上です。

○議長（行重 延昭君） 18番、松村議員。

○18番（松村 学君） 実は、この索道については、索道検討協議会というので、以前、民間の委員も入れて協議をいたしました。議会からも4人ほど出てやりまして、実は7年ほど、その答申が出てからたっておりまして、一応そこでは3年ごとに検証をして廃止または存続を検討するということをうたわれておるのですが、あれからそういった協議会というのが開催されずに、執行部の中で検討をされて、こういった形で存続を続けているわけでございます。

その当時の乗客数から見ても、半分ぐらいに落ちこんでいる。執行部の方々もかなり頑張っているのは存じております。いろんな新しい事業、あれから何とか頑張ってロープウェイを存続していこうということで、取り組まれているのですが、残念ながら収入は全然改善されなくて、毎年毎年、当初の見込みより下回っているという状況です。

乗客数についても平成22年度に2万7,262人から平成23年度に2万1,000人という形で、どんどん落ちている、こういう状況です。

私は何が言いたいかといいますと、この最後の報告書のページの後ろに、平成40年までに、結局、これ動かしていることで7億7,000万円という維持費がかかるわけです。そう考えますと、最近、宇部でも常盤公園がリニューアルしております。ミニ動物園で遊園地のいろんなものも、機具もですね、これから更新されるみたいで、そう考えますと、防府市としてもそろそろ何か魅力のあるものをつくっていかなくてはいけないのではない

かと。

ロープウェイと、僕は逆に言うたら山頂公園、かなり子どもたちが行っておりますけども、私も子どもを連れて日曜日とか山に上がるんですけど、やっぱりちょっと、もう同じ遊具がずっと更新されずに使い続けられて、しかもあそこは、割かし高学年の子どもたちが遊ぶに適した、だから幼児とか、ちっちゃい子どもが遊ぶには、ちょっとなかなか危険であるということからしましても、ちょっとそういった、こんだけの維持費を逆にそういった整備に回せば、ちょっとした、防府市にもミニ遊園地のようなものができて、逆に山頂の公園に親子連れの人たちがにぎわって、非常に魅力もあって、新しい魅力を大平山の山頂につくれるのではないかなと、私は常々考えておりまして、そういうことからしましても、ぜひ、検討会をいま一度、そろそろ再開してはどうかというふうに思っているんですけど、その辺についてお答えをお願いいたしたいと思います。

○議長（行重 延昭君） 産業振興部長。

○産業振興部長（山本 一之君） 検討委員会のほうでも御報告させてもらいましたけども、大規模なリニューアル計画というのも構想的には持っておりますけれども、国のほうとも相談しましたら、今のやはりルートでの改修をする形で、当面は施設の古いものを更新していく形をとっていかざるを得ない状況ではあります。

ただ、当然、駅舎とか、そういったもの、古くなっていますので、展望台の改築もあわせて、魅力のある施設にするとともに、公園についても、何らかの、今言われました小さな子どもたちが遊ぶような仕掛けもさらにつくっていくものも含めて、今から計画を練っていきたいとは考えております。

検討委員会につきましては、その辺の今からの計画のでき具合を判断しながら、開催するかどうか検討したいと思います。

以上です。

○議長（行重 延昭君） 18番、松村議員。

○18番（松村 学君） 今、国との協議でロープウェイを存続して使っていかなければいけないというような答弁が今ありましたけど、これはどういった意味なのでしょう。

○議長（行重 延昭君） 産業振興部長。

○産業振興部長（山本 一之君） 索道のリニューアル計画を考えるときに、例えば、ルートを今のルートとは違うルートにしてみようかという、そういうことも含めて、構想を持っておりました。しかし、その辺を含めて、国のほうと協議をしましたら、やはり国のルールの中で、今のルートを延長するのはいいのですが、別のルートに持っていくのはいろんな支障があるよということでございます。ちょっと、詳しい理由まで私存じませ

んけど、とりあえず今のルートを生かした形ならオッケーですよというのはいただいております。

○議長（行重 延昭君） 18番、松村議員。

○18番（松村 学君） 今、ルートとおっしゃいましたが、私が言いよるのは、ロープウェイを——私個人の考えですが、あくまで。ロープウェイというのは廃止をして、大平山の山頂公園、これは全くロープウェイと関係ない話です。都市公園ですから。だから、これを要はミニ遊園地のように大型リニューアルをして、市民に開放したほうが市民にも喜ばれるのではないかと、こういう話をしておるのです。

だから、7億円も維持費がかかると、毎年、別に運賃がマイナスで市から税金を投入しておるわけですから、そもそも初めから、繰り入れをしているわけですよ。だから、そういうのも含めたら40年たったら、20億円、30億円とは言わんぐらいの財源が結局このロープウェイに使われるのであれば、宇部の常盤公園のようにちょっとした遊園地チックな機械も入れながら、総合的な防府市の公園を山頂につくったほうが山の魅力は増すのではないかなという思いで言わせていただきました。

一応、その辺も御検討していただきたいというふうに思います。検討委員会もできればそろそろ、もう7年もたちましたので、ぜひとも開いていただきたいと要望して終わります。

○議長（行重 延昭君） ほかにありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 質疑を終結してお諮りいたします。

ただいま議題となっております6議案につきましては、なお審査の要があると認めますので、所属常任委員会に付託したいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 御異議ないものと認めます。よって、議案第6号については総務委員会に、議案第7号から議案第9号まで及び議案第11号の4議案については、環境経済委員会に、議案第10号については教育厚生委員会にそれぞれ付託と決しました。

議案第12号平成25年度防府市水道事業会計補正予算（第2号）

議案第13号平成25年度防府市工業用水道事業会計補正予算（第1号）

議案第14号平成25年度防府市公共下水道事業会計補正予算（第2号）

○議長（行重 延昭君） 議案第12号から議案第14号までの3議案を一括議題といたします。理事者の捕捉説明を求めます。上下水道事業管理者。

〔上下水道事業管理者 浅田 道生君 登壇〕

○上下水道事業管理者（浅田 道生君） 議案第 1 2 号、議案第 1 3 号及び議案第 1 4 号につきまして、一括して御説明申し上げます。

まず、議案第 1 2 号平成 2 5 年度防府市水道事業会計補正予算（第 2 号）につきまして御説明を申し上げます。

今回の補正は、決算見込みにより、それぞれお示しをいたしておりますように、収入及び支出の増減を計上いたしております。

予算第 3 条に定めております収益的収入及び支出の予定額につきましては、2 ページ以降の平成 2 5 年度防府市水道事業会計補正予算実施計画にその内容をお示しいたしており、収入につきましては、一般住宅建設の増加や集合住宅等の建設による給水負担金の増額を見込み、収益的収入全体において 1, 8 4 1 万 8, 0 0 0 円の増額を計上いたし、支出におきましては、消費税及び地方消費税納付額の増額を見込んでおりますが、企業債借入利率の低下等に伴う企業債利息の減額をはじめ、一般管理費の所要の減額を見込んでおり、収益的支出全体では 3 0 9 万 7, 0 0 0 円の減額を計上いたしております。

次に、予算第 4 条に定めております資本的収入及び支出のうち、収入につきましては、起債充当率を引き下げたことによる企業債借入額の減額等により、資本的収入全体では 1 億 2, 0 4 6 万 5, 0 0 0 円の減額を計上いたし、支出におきましては、企業債借入額の減額に伴う企業債償還金の減額並びに入札差金等に伴う固定資産購入費の減額を見込んでおり、資本的支出全体では、1, 0 2 0 万 2, 0 0 0 円の減額を計上いたしております。

なお、資本的収支不足額の補填財源につきましては、それぞれお示しをいたしておりますように変更いたすものでございます。

第 4 条につきましては、予算第 5 条に定めております企業債の起債限度額を変更し、第 5 条につきましては、予算第 8 条に定めております一般会計からのこの会計へ受ける補助金の額の増額を計上いたしております。

次に、議案第 1 3 号平成 2 5 年度防府市工業用水道事業会計補正予算（第 1 号）につきまして、御説明を申し上げます。

本会計につきましても、補正予算書 1 1 ページにお示しをいたしておりますように、決算見込みによりまして補正するものでございます。

予算第 2 条に定めております業務の予定量につきましては、年間総給水量を 5 6 5 万 5, 0 0 0 立方メートルに、1 日平均給水量を 1 万 5, 4 9 3 立方メートルに、建設改良事業の事業費を 3 1 5 万円に変更するものでございます。

予算第 3 条に定めております収益的収入及び支出の予定額につきましては、1 2 ページ

の平成２５年度防府市工業用水事業会計補正予算実施計画にその内容をお示しいたしております。収入につきましては、営業収益のうち給水収益では責任水量制を採用しておりますが、夏場の期間のみの契約水量の増量の申し込みを受けたことから増額をいたし、収益的収入全体で４８３万８，０００円の増額を計上いたし、支出におきましては、一般管理費の増額並びに消費税及び地方消費税納付額の増額を見込み、収益的支出全体で１２４万３，０００円の増額を計上いたしております。

次に、予算第４条に定めております資本的収入及び支出のうち、支出につきましては、入札差金に伴う建設改良費の減額を見込んでおり、資本的支出全体で２４６万８，０００円の減額を計上いたしております。

なお、資本的収支不足額の補填財源につきましても、それぞれお示しいたしておりますように変更いたすものでございます。

最後に、議案第１４号平成２５年度防府市公共下水道事業会計補正予算（第２号）について御説明を申し上げます。

補正予算書１９ページにお示しをいたしておりますように、本会計につきましても、決算見込みに基づく補正をするものでございます。予算第２条に定めております業務の予定量につきましては、建設改良事業の事業費を２２億２，７４８万３，０００円に変更いたすものでございます。

予算第３条に定めております収益的収入及び支出の予定額につきましては、２０ページ以降の平成２５年度防府市公共下水道事業会計補正予算実施計画にその内容をお示しいたしており、収入につきましては、営業収益の一般会計負担金、営業外収益の一般会計補助金並びに消費税及び地方消費税還付金の減額を見込んでおり、収益的収入全体では３，０５４万１，０００円の減額を計上いたし、支出におきましては、企業債借入利率の低下等に伴う企業債利息の減額をはじめ、一般管理費の所要の減額を見込んでおりますが、減価償却費の増額、消費税及び地方消費税の増額等により、収益的支出全体では１，１１３万７，０００円の増額を計上いたしております。

次に、予算第４条に定めております資本的収入及び支出のうち、収入につきましては、建設改良事業費の減に伴う企業債借入額の減額、平成２５年度の社会資本整備総合交付金の内示に伴う国庫補助金の減額並びに受益者負担金及び分担金の減額を見込み、資本的収入全体では５億８，７３２万６，０００円の減額を計上いたし、支出におきましては、社会資本整備総合交付金の内示及び入札差金等に伴う建設改良費の減額を見込んでおり、資本的支出全体では４億２，４３５万１，０００円の減額を計上いたしております。

なお、資本的収支不足額の補填財源につきましても、それぞれお示しをいたしております。

すように変更いたすものでございます。

第5条につきましては、予算第7条に定めております企業債の起債限度額を変更し、第6条につきましては、予算第11条に定めております一般会計からこの会計へ受ける補助金の額の減額を計上いたしております。

以上、議案第12号、議案第13号及び議案第14号の説明とさせていただきます。よろしく御審議のほど、お願いを申し上げます。

○議長（行重 延昭君） ただいまの捕足説明に対して一括して質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 質疑を終結してお諮りいたします。

ただいま議題となっております3議案については、なお審査の要があると認めますので、所属常任委員会に付託したいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 御異議ないものと認めます。よって、議案第12号から議案第14号までの3議案については、環境経済委員会に付託と決しました。

○議長（行重 延昭君） 以上で、本日の日程は全て議了いたしました。本日はこれにて散会いたします。

次の本会議は3月4日午前10時から開催いたします。その間、各常任委員会におかれましては、よろしく御審査のほどお願いをしておきます。

なお、お疲れのところ大変申しわけございませんが、ただちにこの場で予算委員会全体会が議場にて開催されますのでお知らせいたします。議員の皆様はそのままお残りください。執行部の皆様につきましては、総務分科会に関係する職員のみお残りください。お疲れでございました。

午前11時10分 散会

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

平成26年2月26日

防府市議会議長 行 重 延 昭

防府市議会議員 河 杉 憲 二

防府市議会議員

今 津 誠 一